

〔第3回〕 スクープストレッチャー

千種 将志 (留萌地区消防組合
消防署)

みなさんはじめまして、北海道留萌消防組合消防署の千種将志と申します。

今さら聞けない資機材の使い方、3回目は『スクープストレッチャー』です。

はじめに

救急搬送時、私の所属では搬送資機材の第一選択としてスクープストレッチャーを活用しています。みなさまの所属でも活用することが多いのではないのでしょうか？

スクープストレッチャーは、2つに割り傷病者をすくいと収容できるのが一番の特徴です。脊髄損傷を疑うなどの安静に搬送したい傷病者や、大腿骨頸部骨折・転子部骨折等のような体動による強い痛みを訴える傷病者に対し、最小限の動きで収容・搬送することが可能です。

そのほか、内因性の疾患やC P Aの傷病者の場合でも、仰臥位という安定した体位で安全に搬送することができることから幅広く活用できる搬送資機材です。

今回はスクープストレッチャーの活用方法について現場での活動を交えて紹介していきたいと思います。

今回使用するストレッチャーは『スクープエクセル モデル65E X L』です(写真1)。

仕様

- ・長さ 165～202cm
- ・幅 44cm
- ・重量 8.2kg
- ・最大荷重 150kg



写真1 スクープエクセル モデル65E X L

① 救急車積載方法

私の所属ではスクープストレッチャーはメインストレッチャー上に置き、毛布・枕とともに積載しています(写真2)。これにより、機関員は現場到着後、スムーズに傷病者のもとへ向かうことができます。

※通報内容で呼吸器・循環器疾患で座位搬送を疑う場合や、狭隘でスクープストレッチャーでの搬送が困難な場所と想定できる場合は、出動途上に収納し、他の搬送資機材の準備をします。



写真2 スクープストレッチャーはメインストレッチャー上に置き、毛布・枕とともに積載

② スクープストレッチャー搬送

現場に到着し、スクープストレッチャーを搬送する際は、傷病者に向かうまでの経路の幅、段差、障害となるものの位置を確認していくことが大切です。スクープストレッチャーは最短縮使用時でも165cmの長さがありますので、経路の幅については特に注意が必要となります。スクープストレッチャーを縦に持ち傷病者のもとへ向かってしまうと、傷病者収容後に通路の幅が狭くて通ることができないということが起きてしまう可能性がありますので、スクープストレッチャーを水平に保ち収容後のイメージを浮かべながら向かいましょう(写真3)。

傷病者が大柄で伸長して活用する可能性もあるので、どの程度まで伸長することができるのかも把握しておかなければなりません。



写真3 傷病者を乗せて外に出られるか試しながら向かう

③ 患者収容

傷病者接触後、搬送の準備をするにあたり、まず患者の体格に合わせてスクープストレッチャーの長さを適切な長さに調節し、状況に合わせた収容方法を選択します（写真4）。



写真4 最初に長さを合わせる

(1) 2つに割り収容

この収容方法は患者の体動を最小限にとどめ収容することができます。

スクープストレッチャーの長さを調節後、頭部と足部にあるツインロック部を解除し、傷病者の左右に設置します（写真5）。収容時には、傷病者の背中を挟まないように注意し、頭部側からツインロックを結合します。結合後は、ツインロックが確実に結合されているか、1度左右に広げてロックの確認を行きましょう（写真6）。



写真5 二つに割って傷病者の両脇に置く

(2) 用手による収容

用手による収容の際には、スクープストレッチャー上に毛布を敷いてから収容しましょう、傷病者によっては背中が固くて痛いなどと訴える傷病者もいますので、毛布により軽減します。傷病者の左右にスペースがない場合や人数が多い場合は、ログリフトで収容することもできます（写真7）。



写真6 ツインロックが確実に結合されているか確認する



写真7 傷病者の左右にスペースがない場合はログリフトで収容する

(3) シーツやタオルケット（敷物）による収容

ベッド上にいる傷病者を搬送することも多いと思います。そのような時にはベッドのシーツやタオルケットを活用すると簡単にストレッチャーに収容することができます。

まず、ベッド上に敷いているシーツ・タオルケットをとり、敷物ごと傷病者を左右どちらかに移動し空いたスペースにスクープストレッチャーを置きます（写真8）。



写真8 シーツを利用して移動する。まずシーツで傷病者をくるむ



写真9 シーツで浮かせてストレッチャーの上に乗せる

その後敷物を活用し傷病者をスクープストレッチャーに収容しましょう(写真9)。ただし、敷物を活用する際は、強度を信用せず最小限の移動としましょう。

④ 傷病者搬送

持ち上げる際は、頭側の隊員の合図で持ち上げ、頭部が下がることのないように水平を保ち搬送しましょう。

スクープストレッチャーは取っ手部分がありませんので、搬送移動の際、どちらかの隊員は進行方向へ背を向けて搬送しなければなりません。背を向けている隊員は後方の確認をしながら搬送し、進行方向を向いている隊員は段差や障害物の有無を随時伝えながら搬送します(写真10)。



写真10 スクープストレッチャーは取っ手部分がありませんので、先頭の隊員は進行方向へ背を向けて搬送することになる

狭い場所ではスクープストレッチャーをある程度傾ける(頭部を上げ、足部を下げる)ことで通ることができます(写真11)。傷病者がずりおちないように、3本のベルトでしっかり固定されていることを確認し、不安を取り除くため、声かけをしましょう。

⑤ メインストレッチャー収容

スクープストレッチャーごとメインストレッチャーに収容しますと、運転中の急発進・急ブレーキによりスクープストレッチャーが滑ってずれてしまう可能性があります。メインストレッチャーのベルトを必ず掛け頭側のヘッドレ



写真11 狭い場所ではスクープストレッチャーをある程度傾けて通過する



写真12 メインストレッチャーのベルトを掛けて固定する

ストを確認し傷病者の保護に努めます。(写真12)

病院までの搬送距離が長くなる場合には長時間スクープストレッチャーに乗せて搬送するのではなく、やわらかいメインストレッチャーに移し変え傷病者の負担を軽減させてあげましょう。

⑥ 病院収容

病院のベッドに移す際は、スクープストレッチャーごとベッドへ移し、その場で割ると2名で簡単に移動できます。頭側と足側のツインロックを解除し片方ずつスクープストレッチャーを抜き取りましょう。

⑦ スクープストレッチャーでの失敗

現場での活動を交えてスクープストレッチャーを紹介してきましたが、私自身が経験した単純な失敗を紹介します。

- (1) 呼吸苦を訴え座位で搬送すべき傷病者に対しスクープストレッチャーを持って行ってしまいました。
- (2) 狭い場所にてぎりぎり通れると判断しスクープストレッチャーを選択しましたが、傷病者を収容し搬送しますと、通ることができず布担架に移しかえました。
- (3) 左右を結合させる際に、傷病者のお尻を挟んでしまった(写真13)。
- (4) CPAの傷病者を収容の際、焦ってスクープストレッチャーを設置し患者を収容しましたが、固定ベルトをス



写真13 傷病者のお尻を挟んでしまった

トレッチャーの下に挟んでしまったためベルト固定に時間を要しました。

- (5) メインストレッチャーに収容後、メインストレッチャーのベルトをせず、ヘッドレストも確認しなかったため、搬送中の急ブレーキによりスクープストレッチャーがずれてしまいました。

などなど、もしかしたら皆さんの中にも1度は同じような経験をしたことがある人がいるかもしれません。搬送資機材を取り扱う際は、初歩的なミスをなくし現場滞在時間の短縮に努めることが重要です。

⑧ バックボードとの比較

バックボードも外傷だけでなくスクープストレッチャーと同様の用途で取り扱うことも可能ですが、伸縮(写真14)・2つに折る(写真15)ことが可能な分、スクープス



写真14 伸び縮みできる



写真15 二つ折りにできる



写真16 頭部固定具を取り付けることもできる

トレッチャーの方が一般住宅など屋内での現場に適しています。また、外傷現場でもスクープストレッチャーに頭部固定具を取り付ける(写真16)ことで全脊柱固定も可能になります。しかし、バックボードのように、ログロール・Z字移動・車外救出などは形状上不可能です。救急隊はスクープストレッチャー・バックボードまた布担架を含めた搬送資機材を習熟し、多種多様な現場に1番適した搬送資機材を選択しなければなりません。

おわりに

スクープストレッチャーは非常に取り扱いが簡単な資機材ですが、緒元・性能をきちんと理解した上で取り扱わなければ重大な事故につながる可能性があります。しっかりと取扱説明書を読み十分に訓練を重ねた上で取り扱ひましょう。

次回は「胸骨圧迫」の予定です。

著者

名前：千種 将志
 所属：留萌消防組合消防署
 年齢：26歳
 出身：北海道浦臼町
 消防士拜年月日：



平成20年4月1日
 趣味：サッカー・釣り・カメラ

シリーズ構成

名前：松本直樹
 所属：留萌消防組合消防署

監修

消防：中路和也(留萌消防本部 総務課長)
 医学：玉川進(旭川医療センター病理)